

07年 ふらすこ 第6号

発行 2007年11-12月

発責 北海道勤医協検査技師部会

長らくお待たせいたしました！

「こんにちは！北区の五十嵐 麻衣子です。」

今回ふらすこを初めて編集をすることになりました！今回の11月号は、最初ということもあって読みづらい点が多々あると思いますが、江良編集長にもお力添えを頂きながら頑張ります！！

またみなさまに楽しく読んでもらえるよう腕を上げていきたいと思います！11月号と言いながら、気づけば季節は12月！になってしまっていますね…(汗)申し訳ありません！！不慣れな面もありますがよろしく願います。

ふらすこ編集デビューのマイコちゃんです。どうぞご最真に♪

(技師部会運営委員一同)

〜11月のヒット川柳〜
トルネード 野茂は野球で
ノロ、下痢でー
ちよっと、苦しいです。無理やりノロを題材にしましたが、わかりづらいですね。しかも、野茂「トルネード」って一体いつの時代の話なんでしょうか。古過ぎます。昭和の女より

〜技師川柳〜 サラリーマンだけが辛いんじゃないっ！
技師だって川柳を詠んで
日常の悲喜交々を表現したいんだっ！！

師走に入り(11月号ですが・・・ゴメンナサイ)、めっきり寒くなりました。皆様、お風邪なぞひいてはいませんか？ 今年例年にくらべ、インフルエンザの流行りが随分と早くから始まっています。学級閉鎖でお休みされているお子さん達をもつお母さんお父さんも多いのではないのでしょうか。この季節はノロウイルスにも十分に注意されて下さいね。「お腹が痛い」なんて言おうものなら即刻退場をくらってしまうほど、ノロの存在には過敏になっています。間違っても「隣のノロ(トトロ-宮崎駿風)」「ノロ(どろろ-手塚治虫風)」なんてことは口にしないように。ノロの呪いにかかって大変なことになってしまいますよ。くわばら、くわばら・・・。

さて、川柳。今年の流行語大賞に選ばれた「ハニカミ王子」「どぎゃんせんといかん(あれ？宮崎弁?)」。アナタの選ぶ今年の一語は何ですか？「別にー」。おっ、それもありましたね。ハニカミ王子とは真逆にあるエリカ様の強烈な悪役振りに目が釘付けでした。「そんなの関係ねえ」ってこれまた頭から離れないフレーズです。あの軽快なリズムに合わせて、ついつい連呼してしまいます。「そんなの関係ねえ！でも、そんなの関係ねえ！」「はい、オッパッピー！！」なんなんでしょう。一日中頭で鳴り続けるあのメロディ・・・。空気読めないが「KY」って、知ってましたか？日本人よ、どれだけ言葉を略せば気が済むんだ！！と思わずこぶしに力が入った瞬間です。「あけおめ」も「ことよろ」も日本語として認めないぞ！！と戦前生まれの父が申しておりましたが、「ロイヤルホスト」を「ロイヤルホテル」だと勝手に思い間違いし「そんなところに行っていたのかああっ！！！」と烈火のごとく怒り狂った父を今だ忘れることが出来ません。彼氏とお茶していただけなのに、不良娘と言われた姉はその時すでに25歳でした。例えロイヤルホストがロイヤルホテルであったとしても、当時25歳にもなる姉は悪くないと思うのですが、皆さんどう思います？ あっ、川柳だった！！

『でも、そんなの関係ねえっ！でも、そんなの関係ねえっ！！』

学会デビューを飾りました！！

毎日、検査室のパソコンの前で抄録作り、苦労したけど頑張った甲斐がありました！！

第 83 回北海道医学検査学会に参加して

中央病院 第一検査科 秋葉 直人

10月20～21日に釧路で開催された第83回北海道医学検査学会に参加しました。私にとって学会に参加するというのは初めての事だったので（しかも演題発表まで・・・）かなり緊張しました。

自分の演題発表は2日目の予定でしたので、1日目は余裕をもって参加することができました。1日目の前半はそれぞれの部門における演題発表を聞いて、明日は自分の出番かと思うと緊張感が高まりました。後半は慶応義塾大学病院中央臨床検査部相談室の早川 美恵子技師を招いての招待講演があり、今の時代での検査技師としての働き方・病院の一職員として検査室の中に留まらず積極的に他セクションに出て行くといった姿勢など大変参考になるお話でした。

さていよいよ2日目ですが、私の出番は2番目ということで朝から極度の緊張感に襲われていましたが、いざ演題発表となるとそれなりに落ち着いて発表をすることができました。（声は震えていたと思いますが・・・）10分足らずの発表でしたので終わってみるとあっという間という感じでした。自分の発表を終えてからはものすごく気が楽になり落ち着いて他の演題を聞くことができました。一般演題の後には釧路労災病院副院長の宮城島 拓人先生を招いての招待講演があり、「世界、日本そして釧路のH I Vの現状と対策」というテーマで、先進国の中で唯一H I V感染者が増加している日本の現状、そして世界のエイズの現状、特にアフリカのケニアの医療状況など事細かいお話を聞くことができ非常に重大であると感じました。



学会発表に何を着ればいいのか、全て松坂さんに指導して頂きました。

今回初めて学会というものに参加させていただき、しかも演題発表をすることができたというのは自分にとって非常に大きな経験になったと思います。今回の経験を生かしこれからも積極的に活動していくことがこれから重要だと思います。また今回の演題発表にあたり協力していただいた検査室の皆様やニットボーメディカル株式会社の皆様に深くお礼申し上げます。



全国JB in大阪に

行ってまいりました！！



テーマ Laugh&Peace～笑いと平和で広げよう無限の可能性



10月21日から23日まで大阪で行われた全国JBに行ってきました！検査からは横堀麻衣子さん（苫小牧）、高橋幸子さん（札幌）、そして私、五十嵐麻衣子（北区）の3名が参加してきました！今回はJBに初めて参加した高橋さんに感想をいただきました♪

初めて全国JBに参加させていただきました。こういった行事ごとに参加するのは初めてで、知り合いも全然いないのに大丈夫かな？と心配していましたが前泊の千歳から組まれた北海道の班、まずここから最高で朝まで騒ぎました。大阪へ向かって堤さんの記念講演「アメリカ格差社会に見る日本の近未来～私たち市民の武器とは～」を聞きました。「知る」ということの大切さを感じました。

そして全国での班分け。班交流などをしました。班員全員仲良くなって、全員で遅くまで飲んだり話したり騒いだり・・・で

2日目
私の班は「笑い・無駄遣いコース」というコースになり、大阪の無駄遣い、税金でこんなに無駄な建物を建てているというのを見てきました。

立派だけど立派すぎて無駄！そのぶんをもっと役立つものに使えたら・・・そう思います。

夜は大交流会で、大勢あつまっての祭り状態でした。帰ってからまた班員であつまって宴会。朝まででした。

3日目
パレードをしました。各自さまざまなアピールをしながらのパレードで長い距離ながらも楽しめました。

そして閉会式、みんなと別れて帰ってゆきました。

短い期間だったけれど、全国のいろいろな職種の方々と交流できて楽しく過ごせた3日間でした。

ありがとうございました。（札幌・高橋幸子）



『乳腺で頭がいっぱいだ！！』

11月に演題発表の準備をしている私が切羽詰って友人に送ったメールである。

『中学男子並みですね。』

戻ってきた返事にはこう書かれていた。さすが、我が友よ。下ネタにはことかかないぜ！

さてさて、そんなこんなで11月、人生初の道外学会参加（ポスター発表）を果たしてきた。

外科の鎌田Drがかねてよりエコー室に来ては、「技師も学会で発表すべきだ！」と豪語していたのだが、「私に言ってることじゃないだろう」と数年間は背中を向け耳をふさぎ目を合わせないようにしていた。が、しかし、中病エコー室4年目にもなると、そうも言っていられなくなる。おまけに安田純さんの退職によりすっかり『盾』を失った私は、毎度繰り返される「学会発表！学会発表！」を避けるすべも無く、ある日気付くと私の頭の中で「発表」の二文字が大きく占拠し始めていたのだ。「この呪いに打ち勝つには発表するしかない！！」

アハハ、相変わらずイントロダクションが長いですね。なかなか本題に辿り着きそうにないので、ここで一気に辛かった10月11月を飛ばして（今思えば、全てが人生の彩りですな。涙は人生のスパイスよ！孤独に耐えて飛ばした夜のハイウェイ(自転車)、嵐の海に浮かぶ小船のように右往左往した日々、どれも今となっては懐かしい思い出。ニヤハ！）、

発表当日の11月22日へ——。そんな状態で第17回日本乳癌検診学会総会2日目。前日、安田さん（東京から参加）と鎌田先生に予行演習を見てもらい、質問対策を考え、そして一番大切な、発表で着る衣装を安田さんにチェック（場違いではないか）をお願いして夜が更けていった。朝は緊張のせいか5時には目が覚め、会場に入ってから口数少なく一人椅子に座りイメージトレーニング。

いよいよ、本番！！「声だけは大きく、はっきりと言おう。」心掛けたのはこれだけ。後は野となれ山となれだ！！

発表途中、「症例1、症例1」と男の人が騒いでる声がして、なんだ？と思って原稿から目を放し顔を上げてみたら、聴講者の前列に立っている鎌田Drが一生懸命何かを教えようと口をパクパクさせていた。へっ？ OH！ジイザス！！ 指示棒で症例1の写真を指しながら、「症例3」を読んでいたぜ。アハハハ。何かしでかさないとエラじゃない。（ねっ、中島さん。）

あっという間に発表も終わり、発表後は「フルマラソンを完走した充実感!?(走ったことないけど)」に身と心を任せていました。緊張と弛緩の振り幅が大きいほど脳から変な物質が出るに違いない。アンチエイジング作用もあればいいな、と思っているこの学会発表。是非、皆さんもお試しあれ！毛穴から溜まった毒素が抜けること請け合いですよ。